

患者役の方は、あなた自身の立場で“気持ちを話す”“ACP をする”体験をしていただきます。

1 ペアワークの設定

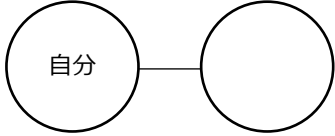
- あなたの立場：2の設定をもとに、一個人としてお話しください。

※専門職としての自分は横に置いておきましょう

- ペアワークの相手：あなたの担当の医療・介護従事者
- 会話の場面：電話で話したことはある医療・介護従事者と初めて対面でお話をする

2 患者役の設定等／ペアワークの前に決める・考えてきてほしいこと

- 年代：ご自身の年齢を参考に○を付けてください。
20～30代 / 40～50代 / 60代～
- 家族構成：ご自身の家族構成を参考に記入してください。

例 
パートナー：同年代で同居。疾患なし。

- 疾患等の設定：ペアワークの前提となる状況設定です。ワークの理解を深めるため、必ず一読ください。
 - 今年、「がん」と告知され、手術と化学療法による治療を受け、現在は外来通院中です。
 - 前回受診した際、医師から「治療の効果は出ている。このまま体調や効果を見ながら、治療を継続していきましょう。」と説明を受けています。
 - 仕事は続けていますが、治療の副作用として「体のだるさ」「口内炎」などがあり、日によっては日常生活に支障が出ることもある状態（今までできたことができない状態）です。

■ ペアワークの前に考えてほしいこと

- ご自身がもしこの状況なら、どう思うでしょうか？
 - 病気のこと、仕事のこと、家での生活のことなど、どう思うのかを想像しておいてください。
 - もし症状が進行したら、今後の暮らしや治療について、どう思うのかも考えておいてください。

3 ペアワーク時の姿勢・ポイント

上記の設定で、ご自身の考え・価値観でお話してください。自分の思いを話す体験、聞かれる体験をすることで、実際の患者さんへのかかわりの際のヒントにさせていただきたいと思っています。